



ワラビー

◆兵庫県の事業補助を受け、就業・起業のサポート事業を行なっています。厚生労働省認可「無料職業紹介所」です。

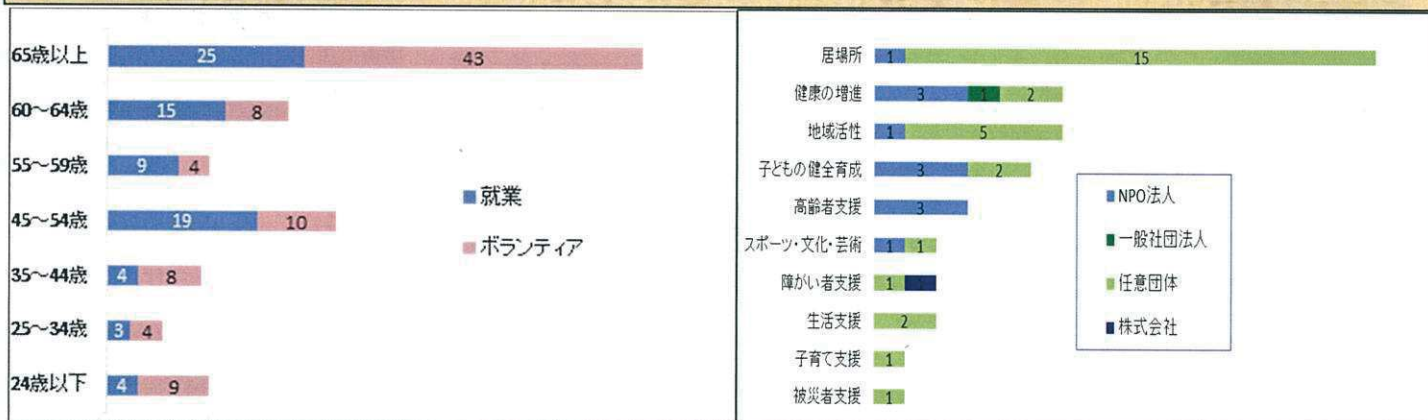
第128号 2019年5月30日発行
 発行人：人羅 亜矢子 編集人：上畑みのり

認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸
 生きがいごとサポートセンター神戸東
 〒658-0052
 神戸市東灘区住吉東町5-2-2 ビュータワー住吉館104
 TEL 078-841-0387 FAX 078-841-0312
 E-mail ⇒ info@cs-wallaby.com
 URL ⇒ <http://www.cs-wallaby.com>

2019年度、人生100年時代になりシニアの活躍が期待されています。今年度ワラビーでは年齢に関係なく、楽しみながら働くことのできる仕組みづくりに挑戦していきます！

2018年度ワラビーの活動実績

- ◆ 面談者総数（延べ人数）2882人（内訳：起業相談者273人・運営相談者1041人・就業相談者674人）
- 就業成立者数 79人（内訳：シニア（60歳以上）42人・ボランティアマッチング数86人（有償ボランティア32人含む））
- ★ 起業団体数 44団体



求職で来所される過半数がシニアで占められています。年齢制限を乗り越えて就業するパワフルな方たちの後押しをこれからも継続していきます！

2019年度講座予定

1) おしごと説明会 ～自分に合うお仕事が見つかるかも～

【日時】 2019年6月24日（月）11:00～12:00 / 2019年7月24日（水）11:00～12:00

【場所】 ビュータワー住吉館ギャラリー ◎まずはお話でも聞いてみませんか。予約不要です。毎月1回開催しています。

2) 「女性のための『まちなかシゴト』起業実践セミナー」

【日時】 6月26日（水）・7月3日（水）・7月24日（水）・7月31日（水）10:00～12:00（4日連続講座）

【場所】 ビュータワー住吉館ギャラリー【参加費】 4000円（全4回）

あなたの趣味や特技を社会に活かしませんか。4回の講座で段階を踏みながら基本を学ぶことができます。1回目) コミュニティ・ビジネスについて学ぶ、実践者の話を聞く 2回目) 事業計画を作る 3回目) 事業の実施場所を見学する 4回目) 事業計画を見直す。実践に向けたスケジュールをたてる。受講すると自分のしたいことが見えてくるかも。

3) 「コミュニティ・ビジネス1DAY スクール」

【日時】 7月20日（土）10:00～16:00 【場所】 神戸市産業振興センター 【参加費】 無料

地域の課題にビジネスの手法を用いて取り組む「コミュニティ・ビジネス（CB）」について広く知っていただくためのスクールを開きます。『小商いのすすめ』の平川克美氏に講演いただきます。

トピックス 55歳以上の方必見！「コミュニティ・ビジネス（CB）離陸応援助成」

充実したセカンドライフを送るため、社会の担い手として地域の課題解決にビジネスでチャレンジしませんか。

事業立ち上げのための助成金申請をお手伝いします。【応募資格等】 ①55歳以上のメンバーで構成されたグループ ②地域課題の解決もしくは地域貢献を目的とした事業を実施すること ③2018年4月1日～2020年1月末日までに新たに開始した、または開始予定の事業であること ④助成対象期間は2019年4月1日～2020年1月末日（それ以前の経費は助成対象になりません）

講座にご関心のある方は、ワラビーにお気軽にお問合せください。

特集 居場所ってナニ？

居場所とは

(さわやか新聞社「ふれあいの居場所ガイドブック」より)

- ① いつでも立ち寄れて、いつでも帰れる。
- ② 誰もが利用できる。
- ③ 時間を自由に過ごすことができる。
- ④ 自分の存在の認識できる。
- ⑤ 経験や能力を生かすことができる。

居場所事例のご紹介 認知症カフェ 「UME のつぶやき」

月曜の天気の良い昼下がり認知症カフェ「UME のつぶやき」へ訪問しました。



店内は天井高く広々とした空間が広がり、綺麗な布が舞っています。壁側に置かれている昭和のレトロなオブジェが落ち着きを与えてくれ異次元の世界に入ったようでした。主催者と参加者がとても忙しく用意をされて、飲み物やケーキ・菓子などが次々とテーブルに並んでいきます。



今回は、主催者を含め15人。(いつもは20人位) 年齢は60歳前半から80歳の方。その中で男性が半数を占めます。あちこちで何となくお喋りが始まり、ケーキを食べてコーヒーを飲んで、何気ない会話が弾みます。まるでご近所さんの集まりのようです。利用者さん同士、いろんな情報交換をしているそうです。ひと段落すると、歌詞の書かれた黑板ほどの大きさの紙を見ながら、ハーモニカの演奏にのって歌います。

ただ歌うだけではなく、1人が歌の時代背景を熱弁すると、別の人がその話に乗ってきて話が展開し、更に盛り上がっていきます。初めて来られた方も常に話かけられて、終始笑顔でした。楽しいところに来たなぁと思わせる場所です。

主催者の丸本さんに、開催のきっかけをお聞きすると、ご主人とよくカフェでケーキを食べに行っていた。けれども、ご主人がコーヒーカップを置くとき、位置がずれてこぼれそうになったりと、次第に気を遣う場面が多くなったことから、同じ状況の人が気兼ねなく、美味しいケーキとコーヒーを食べられる場所を提供したいという思いが大きくなったということでした。登録や予約もないので、本当のカフェのように来たい時に来てもらい楽しんでもらえればうれしいと、にこにこしながら語ってくださいました。



認知症 カフェ UME のつぶやき

毎週月曜日

13:00~15:00

場所: カフェ はじめのいっぽ

参加費 300円/回

お茶お菓子付き

対象者: 認知症の人とその家族、関心ある方



ワラビーでもたくさんの居場所の立ち上げを応援しています！

親子向けやシニア向けという居場所だけでなく、同じ趣味を持った多世代の人が集う居場所、困難なことにぶつかった人たちが一歩ずつ前に進めるお手伝いをする居場所など、その目的や内容は様々ですが、それぞれの想いを持って活動されています。

みなさんも自分の居場所をつくってみませんか。
ご興味のある方はいつでもお立ち寄りください。

【情報】神戸では地域の居場所創出・運営支援事業報告レポートを作りました
ご希望の方は住吉事務所までお越しください



【就業事例のご紹介】

新しい職場で働かれて1年経過した方お二人を紹介します。どのように活躍されているでしょうか

NPO 法人さんぴいす 保積 雅子さん

①どんなお仕事ですか

去年の4月から NPO 法人さんぴいす で、県の委託事業の「まちの子育てひろば」の支援事業の受付窓口をしています。まちの子育てひろばの新設、変更、廃止の申請を受け付けします。受付で対応している以外はパソコンを使ってデータ整理の仕事をしています。

②仕事にどんなやりがいを感じますか

入った時に、事業がスタートしたばかりでしたのでどのような仕事をすすめていくかというところから始まり、スタッフの方と話をしながら手探りで進めていきました。過去にしてきたパソコンの技術や話し合いを繰り返して仕事の段取りをつけていく経験も役に立ち、自分で考えながら仕事の形を作っていくことは楽しくもありました。年度始めは忙しく大変でしたが、時間ができるようになると業務の整理のために、依頼されてはいなかったけれど、表やグラフなどの資料を作成するなどしました。その後、報告時に資料が必要となり、スタッフの方に喜んでもらえました。与えられた仕事以上に役に立っていることがやりがいを感じます。

③求職中の人にメッセージをお願いします。

パートであっても、何を望まれているかおかれている立場を十分認識して、過去の経験を活かしていくことが大事だと思っています。どんな場面で過去の経験が生きるかわからないけれど、持っている引き出しを開いて使っていくと仕事の内容が良くなっていき、自分自身が楽しくなってきます。また、指示を待つだけではなく、できることをどんどん探して仕事をする事で輝くことができます。職場のスタッフとのコミュニケーションが大事だと思います。話し合うことで、仕事の状況を理解してもらえて、仕事が少ないときは他の仕事を手伝うなどの仕事の調整をしてもらうことで常に充実できています。みずからを輝やかせるよういつも努力していきたいと思っています。



JR 住吉駅前駐輪場管理運営 松本 吉一さん

①どんなお仕事ですか

去年の3月から駐輪場で働いています。営業時間午前6時30分から午後10時の間で、3～7時間単位のシフトを平均73歳の高齢者と障がい者の方とのワークシェアで勤務しています。事務所で自転車の利用券販売や駐輪場の見回りを2人体制でしています。時々、外国籍の若者の利用者が来て、カタコト英語やボディランゲージで伝えるなど難しいながら、それに対応していくのは楽しい体験です。そのほかには、駐輪場周辺の清掃やプランターの花の水遣りなどもしています。障がい者の方と一緒に見守りや清掃をすることも楽しんでいます。

②仕事にどんなやりがいを感じますか

仕事の先輩たちとのコミュニケーションがしっかり取れていることです。シフト制なので仕事の引継ぎが毎回ありますが、お互いを分かり合っているので密に連絡事項の交換ができて、いつも仕事がスムーズに進みます。さらに、地域の催しの話や生活の情報を教えてもらうなど、和気あいあいとした楽しい職場です。楽しく働けることがやりがいです。楽しく働けると健康にもつながると思います。

③求職中の人にメッセージをお願いします。

たまたまご縁があって今の仕事に飛び込みましたが、何事も思い切って挑戦してみることが大事だと思います。やりたいこと、あるいは夢がある人も、とにかくあきらめないことです。



保積さん、松本さんのように、お仕事で楽しく輝いていきたいですね。

ワラビーでは、地域に密着したお仕事を紹介しています。仕事を探すにあたっては、年齢を重ねてきた方は、仕事上のキャリアのみではなく、人生で経験してきたことが役に立つようです。

若い方も自分の視野を広げて仕事探しをしてみませんか。しごと探しのお手伝いをいたします！

KABURA 工芸の店かぶら



A photograph of three women standing in front of the entrance to the Karuwa Museum. The woman on the left is wearing a grey cardigan over a black top and grey trousers. The woman in the middle is wearing a yellow cardigan over a light blue top and brown trousers. The woman on the right is wearing a dark blue cardigan over a grey top and a long red skirt. They are standing in front of a building with a sign that reads 'KARUWA'. To the right of the women is a black sign with the word 'OPEN' in white letters.

